

■飯田蛇笏 俳人。{ホトトギス}の高揚期を代表、戦争で家族を失う悲運に耐えて句境を深め、俳壇の重鎮として活躍。

いいだだこつ

内閣発足・1885= 山梨県東八代郡五成村で、名字帯刀を許された旧家の長男に生まれる。本名飯田武治。

帝国憲法発布1889= 4歳：

日清戦争始・1894= 9歳：

山梨県では江戸期以来の宗匠による俳壇の影響力が残り、幼少期から旧来の月並俳句に親しんで育つ。

子規句歌革新1898=13歳：甲府中学に入学するが、

ビアノ国産化・1900=15歳：この年、正岡子規が{ホトトギス}紙上で俳句革新を開始、山梨県でも新興俳人が出現し始める。

教科書疑獄・1902=17歳：中退し、

日比谷公園・1903=18歳：京北中学に転入。

日露戦争始・1904=19歳：早稲田大学英文科に入学、若山牧水らを知る。

日露戦争終・1905=20歳：文学を志し、早稲田大学英文科に入学。_早稲田吟社の句会に参加し、同じ下宿の若山牧水らとも親交。高浜虚子主宰の{ホトトギス}に初めて俳句が掲載される。小説も手がけ、{文庫}{新声}などに作品を発表。

アヲキ創刊・1908=23歳：_高浜虚子の俳句道場{俳諧散心}に最年少者として参加したが、虚子の引退で情熱をそがれ、

伊藤博文暗殺1909=24歳：家から命を受けたこともあって、早大を中退し帰郷、_家業を継ぐ一方、{国民新聞}への投句を始める。

大逆事件判決1911=26歳：矢沢菊乃と結婚。*興隆し始めた萩原井泉水や河東碧梧桐の影響による新傾向俳句を批判し、{山梨毎日新聞}紙上に「俳諧我観」を連載して、自然風土に根ざした俳句を提唱し、

明治天皇没・1912=27歳：虚子の俳壇復帰を知って、{ホトトギス}への投句再開するや、

第一次大戦始1914=29歳：代表句' 芋の露連山影を正しうす'。巻頭3回、

21ヶ条要求・1915=30歳：代表句' 死病得て爪うつくしき火桶かな'。巻頭5回を飾り、*{ホトトギス}の主観高揚期の代表俳人の一人となる。創刊された愛知県の俳誌「キララ」から依頼されて、その選者となると、

ロシア革命・1917=32歳：_ {雲母}と改めて主宰するようになり、

原敬首相暗殺1921=36歳：

この間、5人の男児を儲ける。

治安維持法・1925=40歳：*発行所も甲府市に移し、以後、甲斐の山村の風土に腰を据えて句作を続ける。

金融恐慌・1927=42歳：代表句' なきながらや秋風かよふ鼻の穴'、芥川龍之介の死に寄せた' たましひのたとへば秋のほたるかな'。

海軍軍縮条約1930=45歳：代表句' をりとりてはらりとおもきすすきかな'。

満州事変・1931=46歳：

五一五事件・1932=47歳：_ 処女句集「山廬集」を刊行、

国際連盟脱退1933=48歳：「俳句道を行く」。代表句' ころがねの秋の風鈴鳴りにけり'。

芥川直木賞始1935=50歳：「近代句を語る」「俳句文芸の楽園」、

二二六事件・1936=51歳：随筆紀行「穢土寂光」、

日中戦争始・1937=52歳：_ 句集「靈芝」、

第二次大戦始1939=54歳：「俳句文学の秋」。随筆紀行「土の饗宴」、

大政翼賛会・1940=55歳：_ 句集「山響集」。朝鮮半島から中国北部にかけてを縦断旅行し、大陸各地で俳句会や講演を開いた。

日米開戦・1941=56歳：随筆紀行「美と田園」「旅ゆく諷詠」、

.....1942=57歳：「青年俳句とその批評」、

創価学会検挙1943=58歳：随筆紀行「田園の霧」、「現代俳句秀作の鑑賞」、_ 句集「白嶽」、

敗戦.....1945=60歳：_ 次男は学業を終えた直後に病死、長男・三男も戦死するという悲運に耐えて句境を深め、

新憲法施行・1947=62歳：_ 句集「心像」「春蘭」、

極東裁判決・1948=63歳：

朝鮮戦争始・1950=65歳：評論集「現代俳句の批判と鑑賞」、

独立回復・1951=66歳：随筆紀行「北方羈旅の諷詠」、_ 句集「雪峽」、

国連加盟・1956=71歳：_ 句集「家郷の霧」、

なべ底不況・1957=72歳：

インサツアマン・1958=73歳：随筆紀行「山廬随筆」、

晩年の代表句' 誰彼もあらず一天自尊の秋' を遺して、

安保闘争・1960=75歳：

全国総合計画1962=77歳：_ 没した。

没後句集「椿花集」。